根こぶ病菌を直接たたけ！

オラクルは、作物に感染する「遊走子」に直接作用。
だから、土壌中の菌密度を低減、* 病害を約50日間予防します。

根こぶ病・土壌病害用　殺菌剤

オラクル®

粉剤／顆粒水和剤

後藤名誉教授も推奨!

遊走子を直接たたいてくれる殺菌剤は、根こぶ病の防除に、非常に有効だと思います。

東京農業大学 後藤 逸男 名誉教授（農学博士）

根こぶ病は難防除病害です。薬剤はあくまで総合的防除の一つで、単独では効果が不十分な場合があります。本剤は土壌の「酸性改良」や「輪作体系」、「排水の改善」などと組み合わせて使用してください。

＊使用していない場合との比較において
※イラストはイメージです　®は日産化学(株)の登録商標

根こぶ病・土壌病害用　殺菌剤

オラクル®

粉剤/顆粒水和剤

★毒劇物に該当しないものを指していう通称

	登録番号	有効成分 アミスルブロム	毒　性	性　状	荷　姿
粉　剤	第22800号	0.50%	普通物★	類白色粉末45μm以下	3kg/15kg
顆粒水和剤	第22799号	50.0%	普通物★	淡褐色水和性細粒	300g/1.5kg

オラクルは、病原菌の遊走子に直接作用して、予防します。

オラクルは、従来の根こぶ病用殺菌剤とは違い休眠胞子を眠らせたままにしません。

病害感染の元になる、遊走子に直接作用。その効果は、約50日間持続します。

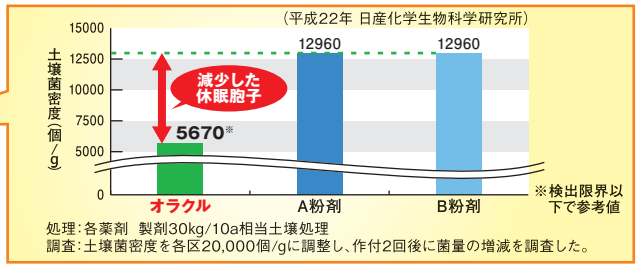
だから、土壌中の菌密度を低減*。畑の土をきれいにします。

＋

さらに、菌密度の高い圃場では、セル苗灌注（顆粒水和剤）と土壌混和（粉剤・顆粒水和剤）の体系防除でより強力に予防することも可能です。

＊使用していない場合との比較において

遊走子をたたくので、菌密度を低減します*。



処理：各薬剤　製剤30kg/10a相当土壌処理
調査：土壌菌密度を各区20,000個/gに調整し、作付2回後に菌量の増減を調査した。

■粉剤の適用病害と使用方法

適湿な土壌水分で処理してください（土を握ってすぐ崩れる程度）。

作物名	適用病害/使用目的	使用量	使用時期	総使用回数※1	使用方法
かぶ	根こぶ病	30kg/10a	は種前	※2	全面土壌混和
非結球あぶらな科葉菜類		20～30kg/10a	は種前又は定植前	※3	
茎ブロッコリー		30kg/10a	定植前	※4	
ザーサイ					
キャベツ		20kg/10a	は種前（苗床）	※5	
			定植前		作条土壌混和
		30kg/10a			全面土壌混和
ブロッコリー カリフラワー				※6	
		20kg/10a			作条土壌混和
はくさい		30kg/10a	は種前又は定植前		全面土壌混和
	ピシウム腐敗病		定植前		
稲（箱育苗）	苗立枯病（ピシウム菌）、ムレ苗防止	育苗箱1箱当たり 10～15g※12	は種前	1回	育苗箱土壌に均一に混和する
ばれいしょ	粉状そうか病	20kg/10a	植付前	※7	全面土壌混和

■顆粒水和剤の適用病害と使用方法

全面散布時は、適湿な土壌水分で処理してください（土を握ってすぐ崩れる程度）。

作物名	適用病害/使用目的	希釈倍数又は使用薬量	使用液量又は希釈水量	使用時期	総使用回数※1	使用方法
ぶどう	べと病	5,000～10,000倍	200～700ℓ/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布
てんさい	黒根病	2,000倍	200～300ℓ/10a	収穫30日前まで	※8	株元散布
		100～200倍	ペーパーポット1冊当たり1ℓ（3ℓ/㎡）	移植前		苗床土壌灌注
キャベツ	根こぶ病	300g/10a	100ℓ/10a	定植前	※9	全面散布後土壌混和
		200～500倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約3～4ℓ）当たり500mℓ			灌注
茎ブロッコリー		500倍			※4	
ザーサイ		200倍		定植当日		
はくさい ブロッコリー カリフラワー		200～500倍		定植前	※10	
		300g/10a	100ℓ/10a			全面散布後土壌混和
非結球あぶらな科葉菜類		200～300g/10a		は種前又は定植前	※11	
		200～500倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約3～4ℓ）当たり500mℓ	定植前		灌注
かぶ		150～300g/10a	100ℓ/10a	は種前	※2	全面散布後土壌混和
みょうが（花穂）	根茎腐敗病	2,000倍	3ℓ/㎡	生育期但し、収穫3日前まで	3回以内	土壌灌注
みょうが（茎葉）				みょうが（花穂）の収穫3日前まで但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで		
しょうが			1～3ℓ/㎡	生育期但し、収穫3日前まで		
		3,000倍	3ℓ/㎡			
葉しょうが		2,000倍	1ℓ/㎡			
いちご	疫病	2,000～3,000倍	50mℓ/株	育苗期		
たばこ		2,000倍	100～200mℓ/株	収穫10日前まで	2回以内	株元灌注
			200～400ℓ/10a			土壌表面散布
ばれいしょ	粉状そうか病	250g/10a	100ℓ/10a	植付前	※7	全面散布後土壌混和
こんにゃく	根腐病	500g/10a			1回	
稲（箱育苗）	苗立枯病（ピシウム菌）、ムレ苗防止	2,000～4,000倍	育苗箱1箱当たり希釈液500mℓ※12	は種時		土壌灌注
		4,000倍	育苗箱1箱当たり希釈液1ℓ※12			
花き類・観葉植物※13	疫病	2,000倍	ポット使用土壌約1ℓ当たり100mℓ	鉢上げ時又は鉢替え時又は生育期	3回以内	

※1.本剤およびアミスルブロムを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

※2.本剤は2回以内、アミスルブロムを含む農薬の総使用回数は5回以内（土壌混和は2回以内、散布は3回以内）

※3.本剤は2回以内、アミスルブロムを含む農薬の総使用回数は6回以内（土壌混和は2回以内、灌注は1回以内、散布は3回以内）

※4.全面土壌混和は2回以内、灌注は1回、アミスルブロムを含む農薬の総使用回数は3回以内（土壌混和は2回以内、灌注は1回以内）

※5.本剤は2回以内、アミスルブロムを含む農薬の総使用回数は8回以内（苗床での土壌混和は2回以内、灌注は1回以内、本圃での土壌混和は2回以内、散布は4回以内）

※6.本剤は2回以内、アミスルブロムを含む農薬の総使用回数は7回以内（土壌混和は2回以内、灌注は1回以内、散布は4回以内）

※7.本剤は1回、アミスルブロムを含む農薬の総使用回数は5回以内（植付前は1回以内、植付後は4回以内）

※8.株元散布は3回以内、苗床土壌灌注は1回、アミスルブロムを含む農薬の総使用回数は5回以内（種子への処理は1回以内、苗床灌注は1回以内、株元散布は3回以内）

※9.全面散布後土壌混和は2回以内、灌注は1回、アミスルブロムを含む農薬の総使用回数は8回以内（苗床での土壌混和は2回以内、灌注は1回以内、本圃での土壌混和は2回以内、散布は4回以内）

※10.全面散布後土壌混和は2回以内、灌注は1回、アミスルブロムを含む農薬の総使用回数は7回以内（土壌混和は2回以内、灌注は1回以内、散布は4回以内）

※11.全面散布後土壌混和は2回以内、灌注は1回、アミスルブロムを含む農薬の総使用回数は6回以内（土壌混和は2回以内、灌注は1回以内、散布は3回以内）

※12.育苗箱は30×60×3cm、使用土壌約5ℓ

※13.（ポット、プランター等の容器栽培）

詳しい製品情報はこちら ➡

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2024年4月現在の登録内容に基づいています。

日産化学株式会社
東京都中央区日本橋二丁目5番1号　ホームページ https://www.nissan-agro.net/
お客様窓口 TEL.03-4463-8271（9:00～17:30 土日祝日除く）

ORC-SHS23A